

公益社団法人日本表面真空学会 学会賞規程

平成 25 年 2 月 2 日理事会承認
改訂 平成 30 年 9 月 29 日理事会

(定義)

第 1 条 公益社団法人日本表面真空学会（以下本会という）は、表面・真空科学の基礎および応用研究ならびに技術の進歩発展に関する功績を顕揚するために日本表面真空学会学会賞を設定する。本賞は、表面・真空科学において相当期間にわたって高い水準の業績を挙げることにより、本会に貢献した功績の顕著な個人に与えられる賞である。

(対象者)

第 2 条 本賞は本会の個人会員に与えられる。ここに個人会員とは、名誉会員、功労会員、個人正会員、および学生会員のいずれかであり、物故者も含む。

2 業績の一部に共同研究者があっても、原則として単独受賞とする。

(推薦)

第 3 条 受賞候補者の推薦は下記による。

(1) 本会名誉会員、功労会員、個人正会員、および法人正会員は、学会賞の受賞候補者を推薦することができる。

(2) 受賞候補者の推薦に際しては、定められた形式による推薦書および推薦理由書等を、所定の書類に添えて提出する必要がある。

(選定)

第 4 条 学会賞等選定委員会は、推薦された候補者から年 1 回 2 名以内を受賞対象者として選定し、理事会に推薦する。

2 理事会は選考結果の報告を受け審議し、受賞者を決定する。

(表彰)

第 5 条 表彰は、賞状もしくは楯、または賞状と楯とをもって行う。

(授賞)

第 6 条 本賞の授賞は、学術講演会または定例総会にて行う。

(受賞業績の公開)

第 7 条 受賞者は、学術講演会にて受賞業績の発表を行なうものとする。

(内規)

第 8 条 本賞の推薦方法および選考方法について、必要ならば内規を別に定めるものとする。

(規程の改廃)

第 9 条 この規程の改廃は理事会の議決をもって行うものとする。

付則 この規程は平成 30 年 9 月 29 日から施行し、平成 30 年 9 月 29 日から適用する。

改訂来歴

日付	理由及訂正箇所	承認	起案
2008/8/23	初版作成	理事会	長谷川修司
2008/11/22	改訂版作成	理事会	工藤正博
2009/4/18	改訂版作成	理事会	工藤正博
2013/2/2	改訂版作成	理事会	一宮彪彦
2018/9/29	改訂版作成	理事会	長谷川修司

学会賞候補者ならびにフェロー候補者推薦のお願い

公益社団法人日本表面真空学会
表彰担当理事 長谷川修司

日本表面真空学会では、旧日本表面科学会および旧日本真空学会での伝統を引き継ぎ、表面・真空科学の基礎および応用研究や技術の進歩発展に特に顕著な貢献があったと認められる個人会員に対して、日本表面真空学会 学会賞を贈呈しています。さらに、本会における学術的かつ継続的な活動を通じて表面科学および真空科学とその産業利用の進歩発展に顕著な業績をあげた個人会員に対し、日本表面真空学会フェローの称号を授与し、本会を代表する会員としてリーダーシップの発揮を奨励します。つきましては、候補者の推薦を会員の皆様から広く募集いたします。下記により、奮ってご応募下さい。

提出締切 : 平成31年1月7日(月)
提出先 : 〒113-0033 文京区本郷 5-25-16 石川ビル5階
日本表面真空学会 学会賞等選定委員会

なお、学会賞規程・フェロー規程および過去の受賞者については学会ホームページをご覧ください。(https://www.jvss.jp/jpn/introduction/index.php)

記

I. 学会賞候補者

1. 被推薦資格 : 本会個人会員
2. 提出書類 : ① 業績タイトルおよび推薦理由書 ; 500-1000字程度
② 被推薦者の履歴書
③ 業績リスト
④ 代表論文3編の別刷り (コピー可)
上記①~④を、各7部ご提出下さい。

II. フェロー候補者

1. 被推薦資格 : 在籍累計10年以上の本会正会員
(旧表面科学会および旧真空学会の在籍年数も含む)
2. 提出書類 : ① 業績タイトルおよび推薦理由書 ; 500-1000字程度
② 被推薦者の履歴書
③ 業績リスト
上記①~③を、各7部ご提出下さい。